

令和2年度 千葉県立船橋夏見特別支援学校 学校経営方針

1 学校教育目標

【教育目標】

○生徒一人一人の将来の自立・自己実現に向けて、発達や健康状態、教育的ニーズに応じた教育活動を行い、充実した人生を営むために必要な「健やかな体」「豊かな心」「確かな学力」を身につけ、社会の一員として、一人一人が主体的に輝ける教育を推進する。

【目指す生徒像】 夢や希望を持ち、目標をかなえるために進んで学ぶ生徒

- | | |
|--------------------------------|---------|
| (1)健康や自分の体への意識を持ち、前向きに明るく過ごす生徒 | (健やかな体) |
| (2)自分を大切にし、相手を思いやる生徒 | (豊かな心) |
| (3)自分から学び、学ぶ喜びを感じることが出来る生徒 | (確かな学力) |

2 学校経営方針

- (1) 全ての教職員が生徒一人一人の理解に努め、一貫性のある教育課程を編成、実施し、生きる力（健やかな体・豊かな心・確かな学力）を育む。
 - ①自立活動（摂食指導、医療的ケア等）の充実を図り、生徒一人一人の障害の克服や改善に努める。
 - ②「自分の気持ちを相手に伝える」「相手の気持ちを受け入れる」ことや友達と互いに「励ましあい」「感謝」「友情」「折り合いをつける」等のコミュニケーション能力の向上に努める。
 - ③生徒一人一人の将来の自立、自己実現に向けての指導や支援に重点をおき、個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用し、指導と評価の一体化を図り、個に応じた教育課程を充実させる。
- (2) 発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。
 - ①すべての教育活動をととして、生徒一人一人の発達を支援し、高等部卒業後の生徒の姿を見据えた系統的で継続的な指導、支援を行う。
 - ②社会の一員としての力を培うために、自己の将来及び生き方を考える指導を、保護者、生徒と共通理解のもとに行う。
 - ③就労支援機関、福祉サービス機関等との連携体制を強化するとともに、卒業後の支援を充実させる。
- (3) 安全安心な学校づくりを推進する。
 - ①一人一人の生徒に関する教職員の共通理解を図り、医師、看護師、家庭との連携を強め、ニーズに合わせた医療的ケアを実践する中で、すべての生徒が健康で安全な学校生活を送れるよう努める。
 - ②学校安全全体について常に点検を行い、危機管理マニュアルを見直し、共通理解を図る。
 - ③災害、事故についての避難訓練やシュミレーション訓練を計画的に実施し、非常時の対応について保護者、生徒、教職員の共通理解を図り、備えを十分に行う。
- (4) 地域とともに歩む学校づくりを推進する。
 - ①地域の社会資源（専門家、関連機関等）や家庭教育力を積極的に活用し、生徒が、より実践的な力が身につけることができるようにする。
 - ②生徒が、それぞれの地域で生活する力を養うために、交流及び共同学習、居住地校交流を積極的に行う。
 - ③特別支援教育のセンター的機能の充実を図るため、職員研修を充実させ、専門性を高める。小学部のある県立船橋特別支援学校と連携する。